

高齢者の事故防止

東京消防庁管内では、日常生活の中でのケガなどにより救急搬送が年々増加傾向にあり、その救急搬送される方の半数以上が高齢者です。事故の内容は、ころぶ事故、おぼれる事故、窒息・誤飲事故、熱中症などがあります。高齢者に特徴のある事故やその予防策を知り、事故を未然に防ぎましょう。

知って安心 「ころぶ」事故

高齢者の日常生活事故のうち最も多いのは「ころぶ」事故です。割合はなんと約8割を占めています。原因の多くは、家の中の小さな段差や階段などです。高齢者は若い人と比べ、ころんだ際に重症化しやすく、寝たきりになる場合もあります。



事故防止の心得

- 立ち上がるときには、近くのものにしっかりとつかまろう。
- 着替えるときには、無理して片足立ちせずに腰かけよう。
- 乗り物に乗り降りするときには、足元の段差に気を付けよう。
- 自転車で段差を乗り越えるときには、急がずあわてず慎重に乗り越えよう。

【問合せ先】

大 森消防署 03-3766-0119 田園調布消防署 03-3727-0119
蒲 田消防署 03-3735-0119 矢 口消防署 03-3758-0119